ブラジル日系社会の今

登壇者略歴

- 1991年11月20日生まれ　さそり座
- B98　W59　H94
- 名門　早稲田大学文化構想学部3年
- 2012年9月～13年8月まで大学を休学し、ブラジルのサンパウロ新聞で記者研修

サンパウロ新聞とは？

- 第二次世界大戦後、「勝ち負け抗争」などが起きた反省から生まれた日系ブラジル人向け日本語新聞
- 日本国内面や国際面のほか、ブラジル国内や日系社会のニュースも取り上げる
- 主な読者層は高齢者で部数減少が続く

（左）サンパウロ新聞前の道、水本光任通り

（右）サンパウロ新聞のオフィス

ブラジル日系人の貢献

- 1世達は「農業の神様」と呼ばれ、ブラジルの農業の発展及び食生活の改善に寄与
- 2世、3世は高い教育水準によりブラジル社会の各方面で活躍
- 日伯両国の架け橋として、

現在の多くの日系人が友好関係維持に尽力

元ブラジル空軍総司令官、斉藤準一（2世）

ブラジルに見る日本文化

世界最大の日本人街、リベルダーデのランドマーク・大鳥居

街中の、普通の量り売りレストランにも寿司が並ぶ。そのほか、焼きそばも大人気

リベルダーデにあるSogo（そご）の
店内の様子

モジ・ダス・クルーゼス市内で行われた運動会の様子

様々な競技が一日中行われ、勝者は米や洗剤などが貰える

フェスティバル・ド・ジャポン
（日本祭り）の様子

ミス・ニッケイコンテストも、同祭りの中で開催され、一番の盛り上がりをみせる